



那覇市立教育研究所

# 研究所だより



那覇市金城 3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



## 「情報支援グループ」の存在

所長 田中 浩三

「パソコン」といえば、教育の情報化の先導的な役割を担ってきたており、教育活動にも欠くことのできない機器の一つである。しかし、学校におけるパソコンの入れ替えや修繕等については「誰が」「どのように」行っているのか等、どれ程関心をもって見ているだろうか。

現在、市内小中学校には、コンピュータ室等にある教育用と職員室等にある校務用のパソコンが併せて五千台余り存在する。

当然故障したり、使えなくなったり、リース切れになったりする度に機器の入れ替えや修繕が必要となる。

今年度、那覇市教育委員会内の「情報の一元化」により、学務課や学校教育課が導入していたパソコン等が全て当研究所へ移管された。

当研究所ではこのようなパソコン等の入れ替えや修繕等を情報支援G(グループ)が行っている。

情報支援Gではパソコン等を各学校へ年次毎計画的に入れ替えを行っている。また、今年度のようにパソコンのXp問題等にも対処しており、これまでパソコンのアップグレード(二千台)や入れ替え(四百十台)等を行っている。

また、小中学校のパソコン等の修繕についても情報支援Gが担っている。次は小中学校からのパソコン等の修繕依頼のベスト三である。

一位：パソコンが正常に起動しない

二位：共有フォルダ機器の故障

三位：プリンタの故障

このような依頼に、情報支援Gに所属している四名の保守員が即対応できる体制で関わっており、今年度は九百件余りの修繕依頼に迅速に対応している。

保守員からは、「パソコンをほこりっぽい所や温度が上がる所におかない」「電源のタコ足配線を避ける」「プリンタのトナー入れ替え等をていねいに」等を気をつけるだけでも故障はもっと減るとの感想が聞かれた。

さらに、学習時の情報検索等に活用する教育用ネットワークや業務用のデスクネット(ウェブメール等)についても情報支援Gがその維持・管理等を行っており、スムーズな教育の情報化に貢献している。

結びに、当研究所には「教育研修G」と「情報支援G」の二つの業務を中心に展開している。前者が常に教職員と直接的に関わっているのに対し、後者は「縁の下」の力持ち的な関わりで学校の情報教育等を支えている。今後「情報支援G」の存在にも理解して頂き、声かけ等をお願いしたい。

## 第101期 研究員 中間検討会 II

1月28日(月) 29日(火)に「中間検討会II」が行われました。

子どもの変容をわかりやすく書くこと、手だてが幼児にどうかかわったのか書くことの難しさを感じます。検討会でたくさんの先生方に意見をいただきましたおかげで、自分の研究を客観的に見ることができました。研究の成果を他の人が読んでわかるように、子ども達の姿をわかりやすく書いていきたいと思ひます。(池田)

社会的な見方・考え方が育まれたかどうかを、アプローチシートの効果、意見交流での子どもたちの話し合いの流れ、最終的な社会的な見方・考え方が見取れるような資料など考えながらまとめていきたいです。(新里)



又吉めぐみ  
指導主事

## 第14回 初任者研修

1月23日(木)、那覇市と浦添市の初任者、新規採用の養護教諭・学校栄養職員の94名の、特別支援学校の視察研修が行われました。

県立大平特別支援学校	小 32名, 中 12名
県立鏡が丘特別支援学校	小 21名, 中 9名
県立沖縄盲学校	小 8名, 中 12名



## 「教育実践研究論文」



## 優良賞(3名)受賞

●平成26年1月25日(土)にかりゆしアーバンリゾート・ナハにおいて、「第21回教育実践研究論文」の表彰式が行われ、本研究所修了生の3名が優良賞を受賞しました。受賞された皆様おめでとうございます。今後とも研究成果を活かしご活躍されることを祈念申し上げます。

## 祝・第21回教育実践研究論文表彰

### 優良賞

第99期長期研究員

**国吉 優子** 与儀幼稚園教諭

意欲的に体を動かして遊ぶ幼児の育成  
～戸外での運動的な遊びを通して～

**石川 広美** 城西小学校教諭

書く力を高める作文指導の工夫  
～キーワード作文や読み合いを通して～

第100期長期研究員

**富山 仁志** 首里中学校教諭

思考力・判断力・表現力等をはぐむ理科学習の工夫  
～ジグソー学習を取り入れた言語活動の充実を通して～



## 第101期 研究員 所内講座

1月31日(金)  
所内講座「社会科における活用する力について」  
が行われました。



今日の講座では新しい学びがたくさんありました。また、講座の番外編で、チェコの暮らしの様子も知ることができたのも良かったです。(村吉)



1つの価値観だけにとらわれる教育をしないように教師が意識して、多様な考え方や知識、価値観を生徒に身につけさせていく必要があるということを感じた。(山里)



比嘉真一郎  
指導主事



2月6日(木)・17日(月)  
所内講座「効果的なプレゼンテーション」が行われました。  
PCを使ったパワーポイントと、iPadを使ったKeynote  
で作成しました。



講師  
上地弘美先生



初めてkeynote を使いました。Keynote を使ったプレゼン作成は指で直感的な操作でできたので思ったより簡単でした。これまで、図の大きさや角度の設定など、マウスで操作していた細かい調整も指でできるので作成時間も短縮できるのではないかと思います。また、keynote に入っているアニメーションの動きもおもしろく、アイデアを生かした工夫ができそうだと感じました。(村吉)

今日の講座で便利な機能がたくさんあることを知り早速使ってみたくなりました。特にスライドマスタやスマートアートは使いこなしたいと思います。今までは一枚ずつ設定してたことが、スライドマスタを使うとすべてのスライドに反映されるので便利だと思いました。(新里)

実際にKeynote を操作できたので、とても勉強になりました。感覚的に使い慣れれば、プレゼンが簡単に作れるようになると思います。また、iPad は持ち運びが便利であるため、画面を直接人に見せたり、機器に接続して活用したりしながら、工夫することで、いろいろな使い方ができると感じました。自分の教材や記録をコンパクトにまとめるのに、とても便利だと思いました。(池田)

全体の飾りや書式など一括で管理できるマスタの作成は、発表を見ている人が見やすい研究発表をする上で、とても有効であると思った。また自分は統計ソフトやエクセルを使い授業したので、それを見せるためのハイパーリンクをとてとても有効だと感じた。(山里)



1月31日(金)  
所内講座「那覇市内歌碑めぐり」  
が行われました。



今日は5つの歌碑巡りでしたが、琉歌のこと、沖縄の方言、作者の生き方などいろいろ勉強できて良かったです。垣花先生の本を読むと那覇市だけでも多くの歌碑がまだあるので、足を運んでみようと思います。(新里)

実際の歌碑を前に垣花先生のお話を聞くことで、詩が書かれた背景や、碑を建てた人々の思いを知ることができ、歌だけでなく歴史を知る楽しさを感じました。これを機会に、沖縄の文化について、さらに興味を持って関わっていききたいと思います。(池田)



講師  
垣花武信先生



城間幹子  
教育長

## タブレット端末導入事業 タブレット端末導入校 決定!

泊小学校 天久小学校 前島小学校  
首里中学校 石田中学校 鏡原中学校

2月6日(木) 研究所会議室にて、タブレット端末を導入する6校の先生方を対象にキックオフ研修が行われました。



タブレット  
サポーター  
の皆さん



## 今月のお勧め

『学級担任のための普通教室ICT活用術』  
國眼厚志 著 明治図書 2013

ICTって何?の先生も「これは便利!」  
を実感できます

近々くと分かっていながら学校ICT化の取り組みを先送りしていませんか? 今、いよいよまったなし。その時あわてなくてもいいように、得意な先生も苦手な先生も今ある環境からスタートできるノウハウが満載。高価な備品にホコリがかかったままならもったいない!【明治図書HPより】



図書室にて  
貸し出ししています♪